

令和6年度進行管理・評価シート
桐生市歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）
（最終変更 令和7年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画に関する施策	2
2 景観計画による景観誘導等	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 伝統的建造物公開活用事業	4
2 歴史的風致形成建造物保存整備事業	5
3 伝統的建造物保存修理事業	6
4 伝統的建築物保存技術継承支援事業	7
5 本町通り整備事業	8
6 桐生新町伝建地区及び周辺整備事業	9
7 景観阻害物調査改善事業	10
8 伝統産業周知啓発事業	11
9 伝統産業保護育成事業	12
10 地場産業振興事業	13
11 織物体験事業	14
12 祇園屋台・鉾伝承活用事業	15
13 無形民俗文化財伝承支援事業	16
14 歴史まちづくり推進啓発事業	17
15 「桐生を好きな子供」を育てる事業	18
16 歴史的建造物調査活用事業	19
17 歴史文化基本構想等策定事業	20
18 歴史文化資料公開事業	21
19 文化財案内標識整備事業	22
20 観光案内等情報提供事業	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存又は活用の現況について	24
2 文化財の修理に関する取組み	25
3 文化財の防災に関する取組み	26
4 文化財の普及・啓発に関する取組み	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	28
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 市民団体等との連携について	29

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和6年度
計画の推進体制		現在の状況
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

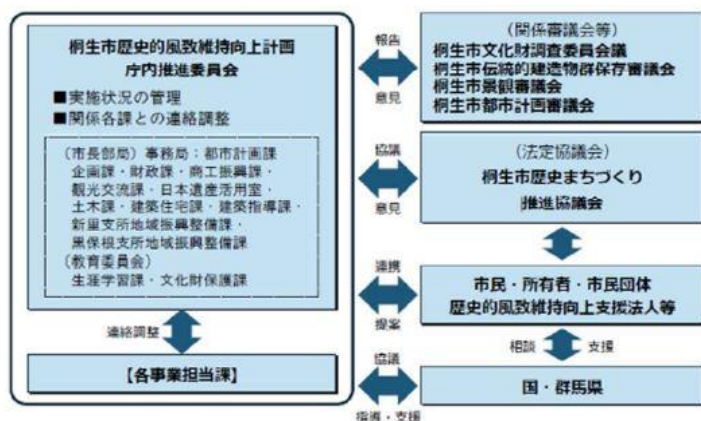
計画に記載している内容 歴史的風致維持及び向上を推進するために、関係各課課長で組織する「歴史的風致維持向上計画庁内推進協議会」を引き続き設置し、担当部局との連絡調整や実施状況の管理と評価を行う。また、国・県の関係機関との協議を行うと共に、「桐生市歴史まちづくり推進協議会」において、事業の進捗状況や計画変更等にかかる協議を行う。必要に応じて都市計画審議会や文化財調査委員会、市民団体などと連携を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

年度内事業進捗状況の報告、歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取、計画の軽微な変更、計画変更、進行管理評価シートに関する意見聴取を踏まえ、「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を令和6年7月16日、令和7年2月17日に開催し、法定協議会である「桐生市歴史まちづくり推進協議会」を令和6年8月6日、令和7年3月7日に開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	法定協議会において、委員の任期満了に伴い新たに委員となった方への各事業や制度等に関する説明方法が課題となっている。会議開催前に新たに委員となった方へ会議資料等を持参し説明を行うことを継続していく。

状況を示す写真や資料等



桐生市歴史まちづくり推進協議会開催の様子
(令和6年8月6日)

○第20回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会
(令和6年7月16日開催)

- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について

○第21回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会
(令和7年2月17日電子会議室にて開催)

- ・進行管理・評価シートについて
- ・軽微な変更について

○第21回桐生市歴史まちづくり推進協議会開催
(令和6年8月6日開催)

- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
- ・歴史的風致形成建造物の指定について

○第22回桐生市歴史まちづくり推進協議会開催
(令和7年3月7日開催)

- ・進行管理・評価シートについて
- ・軽微な変更について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

令和6年度		評価対象年度
項目		現在の状況
都市計画に関する施策		■実施済 □実施中 □未着手
計画に記載している内容	・重点地区は、桐生都市計画区域の市街化区域内で、桐生地区の中心市街地に位置している。重点区域の中心には、本町通りを中心に形成された桐生新町伝建地区が都市計画決定されていることから、中心市街地としての都市機能の集積と歴史的な町並みの保全との両立を図るとしている。 ・都市計画マスタープランにおける目標の1つとして「歴史・文化資源を活かした魅力的なまちの形成」を掲げ、「拠点」「都市軸」などの構成要素を基本に歴史・文化資源を活かした魅力的なまちの形成を推進するとしている。	
	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
	平成23年度に伝建地区の町並みや地割を保存するため同地区内の都市計画道路(本町線・稲荷橋線の一部)を廃止し、伝建地区の通過交通の抑制を図りつつ円滑な交通網の構築を図るため幸橋線の現道拡幅整備を実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	新桐生駅における一連の事業が完了したことで、景観や利便性が向上したが、玄関口として今後周辺地域を含めた活性化やまちなかへの円滑な誘導に繋げていくため、今後関係部局や団体等と具体的な施策を検討していく。	
状況を示す写真や資料等		
位置図 ※新桐生駅前広場整備：令和3年度に完了 ※幸橋線整備：令和4年度に完了		

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
景観計画による景観誘導等		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 桐生市景観計画における良好な景観の形成に関する方針では、地域の特徴や個性を生かした景観形成を図るため、市域全域を6つのゾーンに分け、ゾーンごとの景観形成誘導基準や色彩基準を設けている。重点区域にも含まれている「歴史景観」ゾーンでは、他ゾーンより厳しい色彩基準を設けるなど歴史的資源が周辺景観と調和が図られるように誘導し、より魅力的な景観の形成と保全を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成28年に制定した「桐生市景観計画」に基づき、市全体を景観計画区域とし、良好な景観形成のため規制誘導を実施した。対象となる規模の建築行為等について届出を課し、色彩基準や意匠等について助言を行い景観誘導を図った。
 本年度届出件数:26件(令和6年12月27日現在)のうち、重点区域内2件・歴史景観ゾーン内0件
 ・多くの方に景観を意識し、考えていただく機会とするため、令和6年11月30日に梅田ふるさとセンターで景観講演会を開催した。講演会では、桐生市梅田地区において山村資源の活用とその事業化に向けた活動をされている合同会社バリュー・フォレスト代表社員の武井沙織氏を講師に迎え、「森林を軸に地域景観を見る」とのテーマで講演をいただいた。より多くの方に見ていただけるよう講演内容は後日動画で配信した。また、関連イベントとして、講演会に関するパネル展を、市役所1階市民ロビー(令和6年11月18日～11月27日)と、講演会当日の梅田ふるさとセンターで実施した。
 ・県内市町村の景観・まちづくり行政の写真や取り組みについて紹介する「ぐんま景観・まちづくり展」に出展し、群馬県公式Youtubeチャンネル「tsulunos」で桐生市の歴史的風致形成建造物や景観講演会等の動画を配信し、広く周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

制度についての理解を深めることと魅力的な景観についての意識を高めることが、良好な景観形成につながっていくと思われる。今後も景観制度の周知と景観の意識を高める取組を検討していきたい。

状況を示す写真や資料等



景観講演会チラシ



景観講演会パネル



景観講演会の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
伝統的建造物公開活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和8年度	
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業	
計画に記載している内容	地域の歴史や伝統産業に関する資料展示等を行い、当地区の歴史的な価値について理解を深めるために、補助金を活用して桐生新町伝建地区にある伝統的建造物を取得し、活用を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・重伝建地区公開活用施設(まちなか交流館)が令和6年7月9日(火)に開館し、活用が始まった。 開館に伴い、オープニングセレモニーを開催。 ・ミセ座敷の常設展示の他、奥座敷や廊下等にて企画展示を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	多目的広場の活用について、地域イベントやキッチンカーの出店など、チラシの配布等を行い周知を図っていきたい。	
状況を示す写真や資料等		
まちなか交流館のオープンに伴い、企画展示などのイベントを開催した。 ☆オープニングセレモニー ○開催日 令和6年7月9日(火)午前11時～ ○場 所 まちなか交流館 多目的広場 ○来賓者 23名 ☆第1回企画展示「“ジュウデンケン”って、なに？」 ○期 間 令和6年7月9日(火)～令和6年9月30日(月) ○場 所 廊下、蔵前、奥座敷 ○内 容 メイン: 重伝建地区の主な建物の紹介 サ ブ: 桐生市重要伝統的建造物のジオラマ展示 ☆第2回企画展示『「まちなか交流館」館内にまだまだあるトリビア』 ○期 間 令和6年10月25日(金)～令和6年11月18日(月) ○場 所 廊下、蔵前等 ○内 容 まちなか交流館の館内に関するポイントとトリビアを紹介 ☆第3回企画展示『「重伝建地区と日本遺産」』 ○期 間 令和7年2月1日(土)～令和7年2月23日(日) ○場 所 ミセ座敷等 ○内 容 日本遺産の構成文化財である「絹然記念館」、「桐生織物記念館」、「織物参考館紫」、「後藤織物」に関わる桐生織を紹介		
		
外観		オープニングセレモニーでのテープカットの様子
		
内観 (奥座敷・座敷)		常設展示 (ミセ座敷)
		
第1回企画展示 (廊下)		

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存整備事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定し、建造物の価値を高め、所有者の位置付けや観光資源としての活用を図る。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・計画記載の歴史的風致形成建造物候補物件の18件の内、下記1件の物件を指定し、桐生市長から所有者へ指定標識の授与を行った。なお、指定標識は、歴史的風致である桐生織の技術により、その指定建造物を背景に織り込んだ桐生織標識を採用した。 所有者が本市の歴史まちづくりに対する理解が深く、スムーズに指定に向けた同意を得ることができた。 ○令和6年度指定物件(指定日:令和7年2月13日) 指定第17号 金子家住宅及び旧金子織物株式会社 ○これまでの指定件数 計17件(平成30年度3件、令和元年度3件、令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令和5年度2件、令和6年度1件) ・歴史的風致形成建造物を紹介する動画を作成し、市の公式YouTubeチャンネル「桐生市チャンネル」で配信を行った。建造物を紹介する動画配信はこれまで歴史まちづくりに興味を持っていない層への周知や建物の保存と活用の機運醸成を図るための手段として令和2年度から行っており、令和4年度までは市職員が自作していたが令和5年度から動画作成業務を委託し、よりクオリティの高い動画を配信することができた。 配信にあたっては、市のSNSやふれあいメール、Facebookを活用し広く周知を行っている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物候補物件について、補助制度の施行が整っていない為、引き続き検討を行う。また、所有者の高齢化にともない候補物件の維持管理が困難になることが想定される。	
状況を示す写真や資料等		
 指定第17号「金子家住宅及び旧金子織物株式会社」  令和6年度指定標識授与式の様子 (令和7年2月13日 特別応接室)  歴史的風致形成建造物紹介動画(サムネイル画像)		

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
伝統的建造物保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～令和8年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容 桐生新町伝建地区の特定物件の保存修理を実施する事業者に対し、修理に掛かる経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

2件の保存修理事業を実施しているが、うち1件について、工法等の決定までに時間を要したことにより、令和6年度中の完了が困難となったため、引き続き令和7年度においても実施する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・保存修理事業(補助制度)の主旨について、事業者(建物所有者)の理解を深めることが必要なため、実施した修理についての情報共有等について検討していきたい。 ・保存修理を行う技術者の確保(養成)が必要なため、現場見学会等行いたい。

状況を示す写真や資料等

○保存修理事業の状況

【令和6年度実施 保存修理事業物件1】



修理前状況



工事状況

【令和6年度実施 保存修理事業物件2】 修繕を行う際の工法の決定までに時間を要したため、令和7年度も引き続き修繕を行う。



修理前状況



工事状況

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
伝統的建築物保存技術継承支援事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的建造物の保存・活用に向けて、伝統工法や技術を継承するための専門家を育成する団体等の支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
重伝建地区公開活用施設整備工事の現場において、協同組合群馬県建築設計センター主催により完了時の視察研修会を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・伝統工法について関心を示す技術者が少なく、新たな研修参加者が見込めないため、現場見学会等で伝統工法を知ってもらう機会等を設けていきたい。	

状況を示す写真や資料等

○開催日 令和6年4月17日(水)午後1時30分～
 ○場 所 重伝建地区公開活用施設(現まちなか交流館)
 ○主 催 協同組合 群馬県建築設計センター
 ○参加者 協同組合事務所職員及び関係者 30名

参加者は伝統工法を用いて改修が行われている重伝建地区公開活用施設(現まちなか交流館)の改修状況を見学し伝統工法について実際に現場を見ながら理解を深めた。
 研修では専門職人からみた文化財建築物の改修についての説明や工事における特記事項なども説明され参加者は真剣に聞き入っていた。今後も実際に現場を見学しながら職人や技術者の生の声を聞ける研修の場を提供していきたい。



研修会の様子

重伝建地区公開活用施設整備工事現場視察研修 企画書

協同組合群馬県建築設計センター

1 研修目的

協同組合群馬県建築設計センター組合員の伝統的建造物に対する改修設計等に係る技術力向上を図るため。

【現在までの状況】

桐生市内の重伝建地区公開活用施設は、協同組合群馬県建築設計センターが令和元年度に基本設計、令和3年度に実施設計を行い、令和4、5年度に工事監理の一部を担っていた。
 当該施設は桐生市桐生町(主家)伝統的建造物保存地区内にある歴史的建造物であることから、文化財の保存及び建築物の耐震性確保等の観点から設計を行い、令和6年4月の公開に向けて改修工事を実施していた。

2 開催日程

第1回(懇話会) 令和4年12月16日(金)
 第2回(耐震補強完了、内装工事中) 令和5年9月5日(火)
 第3回(完了時) 令和6年4月17日(水)

【タイムスケジュール】

集合 1時30分
 現場視察 1時30分～2時15分
 講演 2時15分～3時00分
 質疑応答 3時00分～3時30分
 解散 3時30分

3 開催場所

重伝建地区公開活用施設
 (住所: 桐生市本町一丁目223-1 他)

4 研修内容

①文化財建築物の改修工事について
 ②専門職人からみた文化財建築物の改修について
 ③当該工事での特記事項について、他

5 参加者

当協同組合員事務所職員他関係者 約30名

6 その他、注意事項

・所有者の桐生市及び施工者した(株)桐生建設の協力を得て実施する。
 ・研修参加者の車は施設内に駐車しない。

研修会 企画書 (第3回)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
本町通り整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和6年度		
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)		
計画に記載している内容	桐生新町伝建地区内の本町通りを、歴史的な町並みとの調和を図るために、電線類地中化と歩道整備を行い、舗装等の美装化を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
電線類地中化が令和6年12月に完了し、歴史的町並みと道路空間の調和が図られると共に、道路利用者の安全性が向上した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	整備完了後も歴史的町並みと道路空間の調和と道路利用者の安全性の向上について検討を続けていく。		
状況を示す写真や資料等			

着手前



完成後



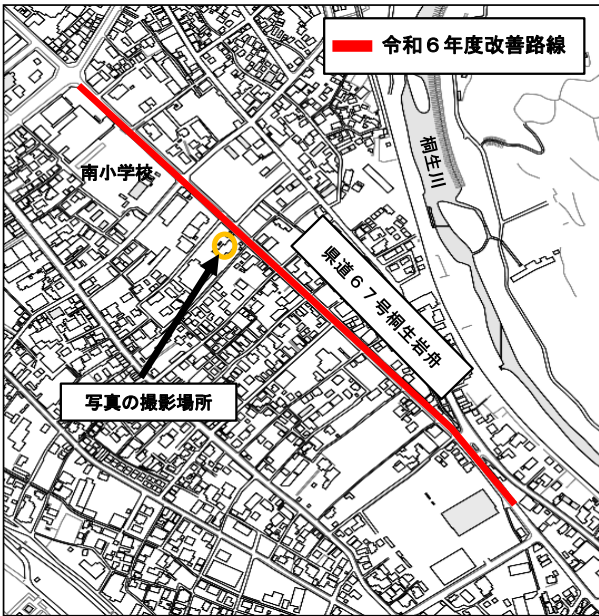
評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
桐生新町伝建地区及び周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)・市単独事業		
計画に記載している内容	周辺景観に配慮した市道の美装化や歩道整備とともに、地域の魅力を満喫できるよう周辺環境整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内随一の来訪者数を誇る桐生が岡公園と近接する重伝建地区の回遊性を向上させるため、社会資本整備総合交付金等を活用し桐生が岡公園及び重伝建地区の周辺整備を行っており、今年度は、昨年度から引続き実施している桐生が岡公園と重伝建地区をつなぐ市道の美装化工事を実施した。また、将来的にコミュニティバスMAYUを活用した輸送を見据え、新ルートの運行や走行時の課題を検討するため、試験運行を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		市道の美装化については、群馬県事業である本町通り整備事業と施工範囲や施工時期の調整を行い、市道の整備を先行して実施した。また、MAYUの試験運行により、走行ルートの段差の解消やルート設定について検討していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
道路美装化工事(えびす通り)			
			
工事前		完成後	
コミュニティバスMAYUを活用した社会実験の様子			
			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
景観阻害物調査改善事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	桐生市景観計画を策定し、群馬県から屋外広告物条例を移譲されたことから、景観を阻害している建築物や屋外広告物の改善に向けて現状調査し、実態を把握したうえで指導や相談を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・毎年度、改善路線を定め、対象路線及び市内主要交差点などに設置されている基準に適合しないものや未手続の違反広告物を表示する広告業者・広告主・土地所有者に対して改善要請を行い、景観を阻害する屋外広告物の改善に努めた。令和6年度改善路線は、県道67号桐生岩舟線沿い(新宿二丁目交差点から境野町一丁目交差点までの区間)の違反屋外広告物の改善要請を行った。 【指導件数:34件(令和6年12月31日現在)】 ・違反広告物把握のため定期的なパトロールの実施や、違反簡易広告物の除却活動を行い良好な景観の保全に努めた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	平成29年度から屋外広告物条例に基づく指導を行っているが、まだ周知されていないと感じる。指導対象者に改善をお願いしやすくするためにも、屋外広告物条例の周知が課題である。周知が進めば、違反広告物は減り、景観の向上へ繋がるため、景観講演会や改善指導を通じ周知に努める。	
状況を示す写真や資料等		
 指導前 ➡  指導後 劣化が著しい広告物の撤去を行った。		
		

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
伝統産業周知啓発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	織物にゆかりの深い建物を活用して織物産業関連資料を展示し、織物に関する歴史や技法の理解を深める機会を創出する。また、伝統産業における各工程や技法を、ホームページや動画等、各メディアを活用しながら、情報発信を行うとともに、見学や体験イベントなどを通して、周知啓発を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
織物を中心とした郷土資料展示を桐生織物記念館において継続実施し、企画展示を3回実施したほか、イベント「織物記念館の日」を開催に併せて、着物で来場された方に対して着物や帯などの豪華賞品が当たる抽選会や桐生織の帯や着物など地元ならではの感謝価格で販売する機屋感謝市などを開催し、桐生織の歴史や技術の変遷について周知を図った。また、市のホームページを通じて、桐生織物の製造工程の詳細や動画を掲載し、伝統的工芸品である桐生織の啓発を図った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	来館者の増加や着物を着る機会の創出のため、抽選イベントや特別販売会を実施。引き続き、様々なイベントを企画・実施し、周知啓発の強化に努めていきたい。	
状況を示す写真や資料等		
織物資料室企画展「ゆかた帯・ゆかた展」		
		
桐生織物記念館の日		
		

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
伝統産業保護育成事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和39年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市の伝統産業である繊維産業は、生活様式の変化等による需要の変化への対応や技術の継承が課題になっているため、新商品の開発や新たな販路の開拓により、経営体質強化を図る。また、桐生織物に携わる職人の高齢化や新規就労者も少ないことから、伝統技術の継承や後継者を育成する環境を整えることで、伝統産業を保護・育成を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
桐生織物の新製品開発や宣伝、展示発表等各事業に係る経費に対して桐生織物協同組合に対し補助を行った。補助金名称:需要開拓事業補助金(桐生織物新製品開発)(桐生織物宣伝)(国内婦人服地新製品開発)織物宣伝事業では、年6回の商談会を開催し、6月の桐生織物織姫展では、23社34人が来場し、販路拡大を図った。また、10月に開催された桐生テキスタイルコレクション2025では、215社413人が来場し、販路拡大を図った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	例年実施している展示会であるため、業界での知名度は高く固定客も多い中、更なる販路拡大に向けた取組が今後の課題。桐生刺繍商工業協同組合においては、来年度の展示会「刺繍展」のリニューアルに向けた検討が図られており、それら活動を通じて経営体質強化や伝統産業の保護・育成につなげていく。	
状況を示す写真や資料等		



桐生織物織姫展 (6月東京展)



桐生テキスタイルコレクション (10月東京)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
地場産業振興事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和62年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 繊維産業などの地場産業の振興・育成・発展を目的に公益財団法人桐生地域地場産業振興センターに対する経営経費の補助とともに、商品開発、情報収集提供事業補助、人材育成等支援事業補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

運営費の補助を行うと共に、桐生産地における繊維産業の展示事業(桐生テキスタイルプロモーションショー)や情報収集提供(専門家を招いたトレンドセミナー)、後継者育成を目的とした繊維大学など各事業に対して補助を行った。3月には1年に1回の桐生テキスタイルプロモーションショーを東京都恵比寿で実施し、販路拡大を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	繊維産地の活性化や地域ブランドの推進に向けて、魅力ある商品・企業等を効果的に発信していく必要があり、今後も新商品開発や展示会を通じて繊維産地桐生をPRしていくほか、繊維大学をはじめとした若手人材育成も進めていく。

状況を示す写真や資料等



桐生テキスタイルプロモーションショー（東京都恵比寿で開催）



繊維大学を通じて若手人材の育成を目指す



専門家を招きトレンドセミナーを開催した。参加者は真剣に耳を傾けていた

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
織物体験事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	「桐生織 伝統工芸士」及び桐生織物協同組合事務局職員が学校へ出向き、学年単位で織物の仕組みや織物製品、伝統工芸品の特性、技法、原材料についての講話を行う。また、児童一人一人が実際に織機を使い、その仕組みを学びながら、織物製品を手織りで製作する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・市内全小学校の3年生または4年生に対し、桐生織物の歴史や絹織物の仕組みの学習と手織り体験を実施した。講師は、桐生織を知り尽くした桐生織伝統工芸士が担当した。各学校に手織り用の織機を搬入して手織り体験を行い、また各学級でDVDを視聴後、機結びの実習をした。実際に製品や織機に触れて学んだ。市内17校 約600名) ・市内の中学校特別支援学級に所属する生徒が工房「風花」に集まり、1年に4回、回転整形式手織機「フラミンゴ」を使用し、手織り体験を行い、一人1作品のタペストリーなどを制作した。(生徒のべ約60名)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	桐生織伝統工芸士の参加調整が時期によっては厳しい。伝統工芸士の参加できる日と学校の予定を調整し、日程を決定していく。また、織機の傷みがすすんでいる。修理等を検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等		



学校からのアンケート

織物体験の様子

学級での機結びの様子

<教師から見た成果や児童の変容等>

- ・桐生織や織機に興味関心をもつ様子が見られました。社会科で学習した桐生織りについて理解を深めることができました。
- ・手織り体験は、最初のうち、踏み板をしっかりと踏むことができず、不安そうに手を動かしていましたが、繰り返し行うことでだんだんと慣れていき、平織りだけでなく、自分の好きな模様にながら楽しく行うことができました。
- ・社会の授業で織物の学習をする前に、今回の体験学習を行った。授業で縦糸と横糸の説明をするときにも、自分たちが実際に通したものが横糸という実感があり、理解がより確かなものになった。実際に機織り体験することは、織物の学習をするのには、とても有効であった。子どもたちは、手織できたことがうれしかったようで、できあがった布をうれしそうに眺めていた。

<児童の感想>

- ・織物体験をして、足で踏むところによって織り方が変わることがわかりました。最初は難しそうだなと思ったけれど、やってみたらとても楽しくできました。
- ・質問をしてわかったのですが、糸の色の種類が無量大にあることを知り、すごいなと思いました。難しい名前でしたが、桐生織りの七つの技法を知りました。
- ・織物体験を通して、いろいろな織り方を知りました。織機のしくみもよく観察することができました。とてもおもしろかったです。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
祇園屋台・鉾伝承活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度		
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	江戸文化を色濃く残した桐生祇園祭において、本町各町会で所有している祇園屋台と鉾の損傷している部分を修理したうえで、文化財指定や通常展示を含めた公開方法について検討する。また、桐生祇園祭の次世代の後継者を育成するために、子供たちを対象としたお囃子の講習会や桐生祇園祭の歴史・風習を学ぶ講座を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
各町会や桐生祇園祭保存会が主導する屋台展示やお囃子講習会などは行われたが、市の事業としては効果的な取り組みを行うことができなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		祇園屋台の組み上げ及び修理ができる技術者の育成や若者世代に屋台や祇園祭に興味をもってもらえるような場を提供することが課題である	
状況を示す写真や資料等			
今年度は天王番の町会が屋台の組み立てを行い、屋台と鉾を同時展示するなど祇園祭をはじめとする屋台と鉾を後世に伝える活動を積極的に行っていた。また、各町会が所有する屋台を同時展示する計画も進行している。桐生祇園祭においても前年度に引き続き鉾の引き違いも実施され、屋台と鉾を目にする機会を増やす活動が継続的に行われている。 一方で、市の事業としては今年度も効果的な支援ができなかった。背景には補助事業の終了などの財政面をはじめ、担当課が定まっておらず具体的な取り組みが行えていないのが現状である。 現在、祇園屋台と鉾の保存については、各町会での管理をお願いしている状況で、修繕等についても町会費の積み立てなどで補ってもらっているが、町会役員の高齢化に伴い、組み立てについての知識や経験をもつ人材が不足しているため、次世代の育成において支援が必要になっている。また、町会の世帯数減少に伴う自治会費の不足も問題であり、他県や他の地域から組み上げや修理を行える技術者の派遣を行う際の金銭的な支援や補助制度が必要な状況である。			
			
桐生タイムス記事 屋台と鉾の同時展示へ 桐生祇園祭 (令和6年8月5日桐生タイムス掲載)			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財伝承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市指定の文化財に限り、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら老朽化により保存や更新が難しくなっている祭礼・行事で使用する用具等の更新支援や修理のための情報提供を行う。また、資金不足や後継者不足により、記録化が図られていない祭礼・行事について、調査・研究を進めて記録化の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は、無形民俗文化財に係る用具等の更新や修理などについての相談はなかったが、今後、相談等の申し出があれば、修理方法や補助等の支援も含め情報を提供していく。 指定・登録に該当するような文化財があれば、事前に調査を実施し、記録保存も行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も、用具の更新及び修理方法等の情報提供や、祭礼・行事の記録保存について引き続き実施していく。		
状況を示す写真や資料等			



白瀧神社太々神楽



賀茂神社太々神楽



桐生和紙生産技術

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
歴史まちづくり推進啓発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市の歴史文化遺産や歴史まちづくりに関連するシンポジウム・講演会・バスツアー等を開催する。また、歴史的風致維持向上支援法人の設立を視野に、歴史まちづくりに関連する事業について、本市との適正な役割分担のもとで事業を推進できるまちづくり団体等の設立を支援する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・市固有の歴史や文化に対する理解を深め、歴史まちづくりを推進していくため、歴史まちづくり講演会を以下の通り実施した。 第1回目の講演会は今年度新規オープンした「まちなか交流館」を会場に開催し、講演会と館内見学をセットにして行った。講演内容を見学内容を含めた内容にするなど見学内容をフィードバックできるような工夫を行った。 ①テーマ:「重伝建地区の街並み今昔-明治37年の地図と現在-」 開催日: 令和6年11月29日 会場: まちなか交流館 講師: “織都桐生”案内人の会 八染和弘 氏 参加人数: 19名(申込者数19名) ②テーマ:「戦国時代 梅田の風景-桐生佐野氏・由良氏と桐生城の歴史-」 開催日: 令和7年3月25日 会場: 梅原公会堂 講師: 小野里 了一 氏 参加人数: 24名(申込者数25名) ・講演会に参加できなかった人や市の取り組み等を広く周知するため、第一回目の桐生市歴史まちづくり講演会の様子を、市のYouTubeチャンネルで配信した。配信にあたっては、外部事業者への委託を行わず、市職員が所有するビデオカメラを使用し撮影する等、配信までの作業をすべて職員で行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	若者世代の参加を増やすことが検討課題である。若者にも興味を持ってもらえるように周知方法を検討するほか、歴史まちづくりに興味のある世代が、若者世代を連れて来られるような講演会にできないか検討を続ける。	
状況を示す写真や資料等		
 第1回 歴史まちづくり講演会の様子  第2回 歴史まちづくり講演会の様子  講演会の動画配信 (サムネイル)		

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

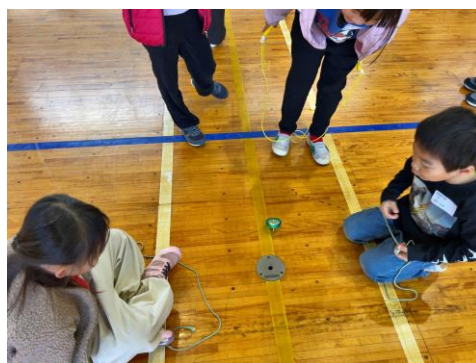
評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
桐生を好きな子供を育てる事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成13年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	「桐生を好きな子供」を育てる事業における歴史や文化遺産の体験事業により、地域住民との交流等を通して桐生の歴史や伝統文化に直接触れる様々な体験を行い、郷土愛を育成する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・桐生に愛着と誇りを持ち、将来にわたって桐生で活躍できる子どもの育成に重点を置いた様々な取り組みを、各学校や幼稚園をはじめ全庁的に実践し、それらを報告書にまとめた。その中で、桐生の歴史や文化に関連する事業45件を実施し、延べ14,618人が参加した。伝統文化の伝承などに寄与することができた。 ・子どもが地域の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後等に安全に安心して活動する拠点を設け、各地域の特色や人材を生かした体験・交流活動、学習等を行う「放課後子供教室」において、昔遊び等を実施し、子どもたちは生き生きと活動することができた。(参加者926人)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	公民館や放課後子供教室などの活動内容について、桐生の歴史文化に関連したプログラムを検討する。	
状況を示す写真や資料等		



図書館 桐生に伝わる民話を聞こう



放課後子供教室 ジャンボカルタに挑戦

彦部家住宅 タケノコ掘り
(未来創生塾)

放課後子供教室 昔遊び

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

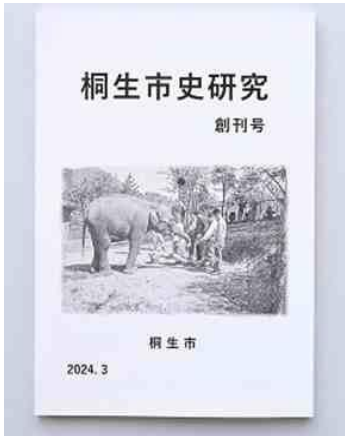
		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物調査活用事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域固有の歴史的資源である歴史的建造物の保存活用のため現地調査と活用に向けた相談体制の構築を図る。また、空き家空き地バンクにおける情報提供の充実と相談体制の構築を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
空き家・空き地バンクに掲載する物件の提供や空き家物件の購入に関する相談は合わせて約200件、空き家・空き地バンクの成約件数は約30件。新たに全国版アットホーム空き家バンクへ参画し物件の紹介を行った。歴史的建造物を空き家バンクに登録したいなどの相談や問い合わせは今年度もなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		所有者は代々相続を続けた物件を手放すことに抵抗があり、活用可能な古民家等が管理できなくなり、家屋の損傷が著しい物件となってから空き家・空き地バンクへ登録するケースが多数ある。制度の周知を図り所有者へ早期の活用や売却を呼掛け取組みについての検討が必要と考える。歴史的建造物が空き家バンクに登録されたケースはこれまでにないが、今後所有者の高齢化が進み所有している歴史的建造物を手放す際に空き家バンクを利用するというケースも考えられる。	
状況を示す写真や資料等			

桐生市空き家・空き地バンクホームページ

全国版空き家バンク
アットホーム「空き家バンク」

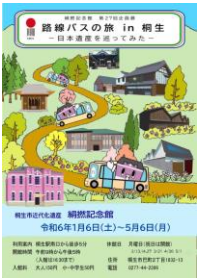
評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財保存活用地域計画等策定事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に存在する文化財を総合的に把握し、その保存及び活用に関する基本的な方針を定める「文化財保存活用地域計画」策定に向けた調査を行う。また、現在の市史は、編さんされてから50年以上が経過していることから、新たな市史の編さんに向けた検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市史編さんについては、市史の編集方針や内容を議論する桐生市史編集委員会を4回、編さん事業の進捗状況を報告する桐生市史編さん審議会を2回、講演会を1回開催した。また、市史編さん事業の成果報告の一環として昨年度刊行した『桐生市史研究』の頒布を行い、即日完売となった。史資料の収集及び調査が本格化し、特に貴重な史資料については、デジタルカメラ撮影やスキャニングによるデジタルデータ作成を行った。市内に伝来した史資料に加え、県外に所蔵される史資料についても探訪調査を進めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		広報などの呼びかけを通じて、史資料の情報提供や閲覧・撮影等を行う機会が増えたが、個人所蔵の史資料に関しては、引越しや倉等の取り壊しなどにより、失われてしまったり、状態の劣化が深刻になってしまうものもあった。今後も継続した編さん事業の広告を行っていきたい。	
状況を示す写真や資料等			
 第14回 桐生市史編集委員会の様子  第6回 桐生市史編さん審議会の様子  令和5年度刊行『桐生市史研究』創刊号			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
歴史文化資料公開事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市の歴史文化に関する資料の収集、保全を進めるとともに、希少な郷土資料やゆかりのある人物などに関する資料を公開し活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・桐生市立図書館所蔵の絵図面や古典籍のデジタルデータを作成し、その一部を群馬県立図書館HPの地域資料デジタルコレクションサイト上で公開した。また、図書館所蔵の古文書を紹介するデジタル版古文書講座「むかしの桐生にふれてみよう」を、桐生市立図書館HP上で公開している。 ・郷土資料管理事業では、幕末に桐生新町の町役人(組頭)を務めた、新居喜左衛門の役用日記の『新居喜左衛門役用日記(三)釈文編』を作成・刊行した。 ・「近代化遺産の日」記念事業として、桐生明治館をはじめとした市内近代化遺産35か所の一斉公開を実施した。公開事業の一環として、国登録有形文化財「水道山記念館(旧配水事務所)」で、「桐生に見る“身近な近代化”」展を実施した。 ・絹燃記念館では、本市の歴史文化に係る資料展示のほか、企画展として「路線バスの旅in桐生」展や「ナゾとき！日本遺産」展、「桐生・御朱印巡り」展を実施した。 ・桐生歴史文化資料館への運営費補助金を支出した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・常設展や企画展など歴史文化に関する資料の公開については、文化財の活用を踏まえて工夫しながら引き続き実施していきたい。 ・子どもから大人まで幅広い年齢層を対象として、文化財の公開や文化財を紹介するイベント(企画展など)を検討し、今後も実施していく。
状況を示す写真や資料等		
 「田村梶子肖像」 江戸後期の教育者、田村梶子の肖像。  デジタル版古文書講座 「むかしの桐生にふれてみよう」  「桐生に見る“身近な近代化”」展  「近代化遺産全国一斉公開 2024in桐生」ポスター  「路線バスの旅in桐生」  「ナゾとき！日本遺産」  「桐生・御朱印巡り」		

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
文化財案内標識整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和40年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業、ぐんま絹遺産保存活用総合支援事業補助金

計画に記載している内容 市指定文化財のうち、建造物や史跡などの看板設置が可能な物件について、その歴史的価値を解説した説明板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

天満宮本殿・幣殿・拝殿及び末社春日社本殿の文化財説明板について、重要文化財指定を反映した新たな内容に張り替えた。また、末社機神社本殿の文化財説明板を新設した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

引き続き設置位置・解説内容を精査し、優先順位を考慮しながら進めていきたい。

状況を示す写真や資料等



天満宮本殿・幣殿・拝殿 張替え



天満宮末社春日社本殿 張替え



天満宮末社機神社本殿 新設

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

桐生市-23

評価軸④-1

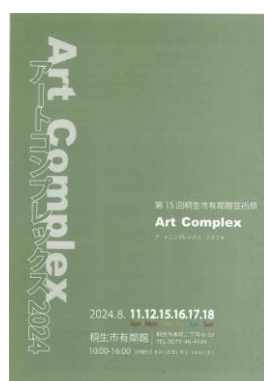
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
文化財の保存又は活用の現況について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	適正な保存を図るため、本市では全ての指定等された文化財を対象に現状確認調査及び所有者・管理者への聞き取りを実施し、群馬県においては指定・登録文化財、重要な埋蔵文化財包蔵地に対して群馬県文化財保護指導委員による「文化財パトロール」を実施している。今後は、これまで実施してきた保存・管理に係る事業を継続するとともに、保存活用計画及び「文化財保存活用地域計画」の策定を進め、適正な保存活用を図る。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で ・国、県及び市の指定文化財の現状及び管理状況調査を実施したほか、所有者・管理者に管理状況等の指導・確認を行った。 ・群馬県文化財保護指導委員による文化財のパトロール報告の指摘物件については、所有者・管理者あてに改善を依頼した。 ・文化財建造物である市有施設の桐生明治館では、作品展や写真展等の企画展を実施し、適切な管理・活用を図った。 ・有料観覧施設である絹襷記念館では、桐生の歴史・文化に係る資料のほか、企画展なども開催している。また、有鄰館では、絵画・写真などの作品展や文化活動の発表の場とするなど、さまざまな催しを開催し適切に活用している。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・文化財の保存・活用について安全な公開方法等の対策を引き続き検討する。 ・文化財に対し多くの方が親しみを持ってもらえるような企画展やイベントなどを検討し、今後も実施していく。	

状況を示す写真や資料等



桐生明治館 銀幕の名優写真展



有鄰館で開催されたイベントのチラシ

煉瓦蔵をはじめとした11棟の蔵群が特徴的な有鄰館では、今年度も様々なイベントが行われた。織物製品の展示販売や市内企業にインターンシップで訪問した学生による成果発表会など多目的に利用された。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の修理に関する取組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	保存修理工事など保存に伴う経費については、指定・登録文化財とともにそれぞれの補助金交付要綱に基づく支援措置を図り、目的や状況によっては、地域活性化や観光振興の補助事業を活用することにより保護を図る。また、重点区域内の建造物については、文化財保護法令における指定や登録のほかに景観法による景観重要建造物、景観重要樹木の指定や歴史的風致形成建造物の指定による景観の保全等、その保護を図る。重伝建地区においては、これまで実施してきた伝統的建造物保存修理、防災対策事業等による文化財の維持管理とともに本町通り整備事業などによる地区内の景観形成を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定重要文化財の桐生倶楽部会館について、5か年計画の最終年事業として外壁・開口部・屋根等の修理工事を実施し、修理方法・方針等に関する指導・助言を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	指定及び登録文化財の現状把握や修理に伴う指導等を行うとともに、各種補助金の活用についても検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
桐生倶楽部会館修理工事			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
文化財の防災に関する取組み	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	所有者に対しては防災意識の向上を図るため訪問時に防災の呼びかけを行っている。毎年「文化財防火デー」にあわせて、文化財建造物や指定文化財を保管している建造物を対象に桐生市消防本部や消防団と連携して文化財消防訓練を実施し、近隣の住民にも参加を呼びかけ、啓発を強化している。また、桐生明治館や桐生市有鄰館、彦部家住宅においては公開施設であるため独自に消防訓練を実施、桐生新町伝建地区においては「桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区防災計画」を策定し、地域住民参加による防災避難訓練を行っており、今後も継続して進めていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・毎年、「文化財防火デー」に合わせて文化財防火訓練を実施しており、令和6年度は彦部家住宅で実施した。 ・重要文化財である彦部家住宅では上記訓練以外にも防火対策として消防ポンプ、火災報知設備、避雷設備等の各種点検を行った。 ・伝建地区では、火災発生の早期発見、早期通報を図るべく地区内の建物に設置した、無線式連動型住宅用火災警報器の作動試験を実施。また、地区住民の災害に対する認識など防災意識の向上のため防災イベントを実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・防災訓練の実施方法等を検討し、毎年訓練を行う。 ・伝建地区では、地区住民の高齢化が進んでおり、災害時の対応など地域の体制を強化することが課題となっている。	
状況を示す写真や資料等		



文化財防火訓練



彦部家住宅 消防設備点検の様子

●令和6年度重伝建地区防災イベント

【開催概要】

- ・開催日 令和7年3月9日(日)
- ・場 所 まちなか交流館
- ・内 容 ・消火器訓練
- ・無線式連動型住宅用火災警報器の取扱い方法説明

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発に関する取組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保護に関する正しい理解と意識向上を図るため、文化財の公開に努め、各種事業の実施、情報の発信を積極的に行う。「近代化遺産一斉公開」やスタンプラリーの開催、「文化財めぐり」、所管施設の無料公開といった子どもから大人まで幅広い世代が文化財に触れる機会を創出する。講座事業としては「立正大学デリバリーカレッジ」や「出前講座」を開催し、文化財の知識と歴史的背景を伝える事業を継続して実施する。さらに、出前講座や歴史まちづくり講演会などの講座事業とともに、見学会など各種イベント事業を開催することにより、文化財について幅広い知識を得ることのできるように取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・10月20日の「近代化遺産の日」に合わせ、ノギリ屋根工場をはじめとする市内近代化遺産35か所を公開し、買物や食事、染織体験等を通して、文化財施設の普及・啓発を行った。 ・桐生明治館では、「桐生明治館開館記念日」「県民の日」「文化財保護強調週間」等に入館料を無料とすることで、多くの市民に親しんでもらう機会を作り、期間中の入館者は640人であった。 ・出前講座で市内の文化財を紹介し、市民への啓発を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		子どもから大人まで幅広い年齢層を対象として、文化財の公開や文化財を紹介するイベントなどを検討し、今後も実施していく。	
状況を示す写真や資料等			
近代化遺産の日記念事業「近代化遺産全国一斉公開 2024 in 桐生」 日本基督教団桐生教会教会堂、桐生明治館を含む35か所を紹介			
			
日本基督教団桐生教会教会堂		明治館BGM生演奏の様子	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和6年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
伝統の太々神楽も披露明日から加茂神社春の例祭		令和6年4月13日	桐生タイムス
桐生祇園祭「世話方」若集会が始動「参加したくなる祭りに」		令和6年4月20日	桐生タイムス
ツアーで迎えた10周年「桐生の江戸商人を探る」		令和6年5月15日	桐生タイムス
本町三丁目屋台展示へ 桐生祇園祭		令和6年5月22日	桐生タイムス
「ナゾとき！日本遺産」絹襷記念館8日から企画展		令和6年6月6日	桐生タイムス
”まちなか交流館”来月9日オープン		令和6年6月8日	桐生タイムス
屋台と鉾の同時展示へ桐生祇園祭		令和6年7月4日	桐生タイムス
桐生の浴衣・帯に親しんで 桐生織物記念館で企画展		令和6年7月12日	桐生タイムス
曳違う鉾、勇壮に翁鉾と四丁目鉾		令和6年8月5日	桐生タイムス
お盆を前に改修完了桐生市重文の浄運寺本堂		令和6年8月7日	桐生タイムス
重伝建地区の散策楽しむ 5年ぶりのワンツーフェス		令和6年9月14日	桐生タイムス
「前田原獅子舞」復活から半世紀 伝承継承へ練習に励む		令和6年10月11日	桐生タイムス
久々「狐釣り」にも挑戦 13日に加茂神社太々神楽		令和6年10月11日	桐生タイムス
観光ガイド姿で町街並みの変遷解説重伝建地区について講演会		令和6年11月18日	桐生タイムス
あすから「えびす講」20日に初の福男選び神事も		令和6年11月18日	桐生タイムス
本町一・二丁目重伝建地区電線地中化ほぼ完成		令和6年12月27日	桐生タイムス
13日に有鄰館煉瓦蔵で蔵KURAデザフェス		令和7年1月9日	桐生タイムス
17件目の歴史的風致形成建造物 金子織物に指定標識贈呈		令和7年2月15日	桐生タイムス
戦国時代の地元の風景語る 梅田でまちづくり講演会		令和7年3月28日	桐生タイムス
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
祇園祭での屋台の展示やまちなか交流館のオープンなど、重伝建地区を中心に盛り上がりを見せている。「福男選び神事」など新たな試みも行われ、地域住民が主体となって開催された行事が増加した。同地区では電柱の地中化が完了し安全で快適な街歩きを楽しめるようになったため、今後も人の流れが活発になることが期待される。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
□ 計画の進捗に影響あり ■ 計画の進捗に影響なし		歴史まちづくりに関する取り組み等に関する情報を引き続き収集するとともに、市民が歴史まちづくりに興味を持ていただけるよう積極的な情報発信を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
 桐生タイムス 令和6年11月18日掲載  桐生タイムス 令和7年2月15日掲載			

市民団体等との連携について

計画に記載
している内容

文化財の保存活用に関わり、地域住民が主体となって組織されている各団体との連携強化や官民協議による保存活用を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

“織都桐生”案内人の会は、桐生の観光ガイド組織として平成26年8月に発足し10周年を迎え、令和6年5月に創立10周年記念イベント「桐生の観光ガイド展」を実施した。50名を超える会員で組織され、桐生新町伝建地区を中心に、お客様の要望に沿った案内を行っている。主な連携した取り組みとしては、講演会とセットにした散策ツアー(令和元年実施)や歴史的風致を巡る散策ツアー(令和2年実施)を市との共催事業として実施している。また、市主催事業として行った首都圏情報発信事業において講師として事業協力をいただき、桐生市と徳川家康の関係について講義をしていた(令和5年実施)。その他、会としての取り組みとして、オンラインによる桐生散策が楽しめるよう、桐生市観光物産協会のYouTubeチャンネルでの動画配信(令和3年から実施中)やInstagramでの情報発信(令和6年度から実施中)、自主企画ツアー等を行っている。

今年度は市内の企業を見学できるオープンファクトリーの要素を取り入れたバスツアーを実施し、一般参加者27人、事務局5人の参加があった。また、市内企業にインターンシップ中の高校生がツアーに随行し見分を広めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

“織都桐生”案内人の会との更なる連携を図るうえで、案内人の高齢化及び実働人数が減少していることが本組織の課題である。継続的な連携を図っていくためにも、新規の案内人の募集活動や活動母体である桐生市観光物産協会の組織強化について、市で出来る限りの動きを模索し実現させる必要がある。

状況を示す写真や資料等

わがまち風景賞バスツアー2024

桐生の歴史や文化を感じる名所と「わがまち風景賞」を受賞した物件を巡るバスツアーを実施します。今回は工場内を見学する「オープンファクトリー」の観点を取り入れつつ、現役で稼働する繊維事業所をはじめとした受賞物件を巡ります。※歩きやすい靴・服装でご参加ください。

この事業は、ファッションタウン桐生推進協議会まちづくり委員会と桐生市の共催事業です。

期日は10月25日(金)

時間は午前8時30分～午後4時(予定)

集合場所＝桐生市役所駐車場(美喜仁桐生文化会館側入口前)

見学場所＝白藏神社周辺、株式会社ホシセー、旧須藤邸、有鄰館周辺、朝倉染布株式会社、有限会社高

光織物工場(予定)

募集人数＝30人(先着順)

費用＝2,000円程度(昼食代・見学科・保険料など) ※当日集金します

申し込み＝9月9日(月)午前9時から20日(金)午後5時までに、電話で桐生商工会議所(☎45-1201)へ。

問い合わせ＝桐生商工会議所、または都市計画課歴まち・街路係(☎内線745)

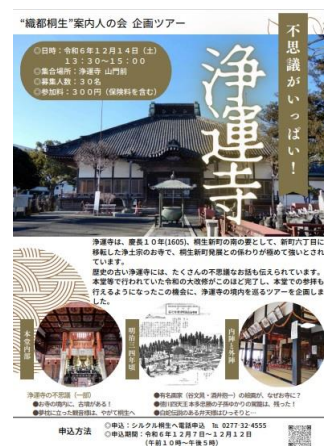


去年のツアーの様子

市内企業にインターンシップ中の高校生がバスツアーに随行し、訪問先の企業経営者や従業員に疑問に思ったことや興味がある分野について質問をするなど、熱心に話を聞いていた。ツアー参加者や訪問先も高校生の随行を快く迎えてくれた。

わがまち風景賞バスツアー申込記事掲載
(広報きりゅう9月号)

わがまち風景賞バスツアーで工場内や併設のショップを見学する様子



“織都桐生”案内人の会
自主企画ツアー

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 桐生市歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時: 令和7年3月7日	
(コメントの概要) ・桐生を好きな子供を育てる事業について、伝統産業等を経験させる事業であると思うが旧桐生市、新里・黒保根地域では産業や文化が違う部分があるため、それぞれの地域によって子供たちのとらえ方も違うと思う。そういった点を考慮して、地域ごとに違った対応をしないといけないと思う。織物ばかりではなくて、桐生の一般的な歴史の話もするなど工夫が必要であるように感じる。 ・市民団体等の連携について、連携の中身を見ると「織都桐生、案内人の会」の事だけが書いてあるように捉えられてしまう。これはこれで理解できるが評価等という項目立てていくのであれば、もっと他のことも書けるといいなと感じた。今回の内容はこれはこれで理解できるので、今後について、検討していただければと感じた。 ・本町通り整備事業について、令和6年度まで電柱の地中化が令和6年12月に完了してるとあるが、「現在の状況」が実施中となっている。令和6年12月に完了しているのであれば実施済みではないのか。 ・ここで言う歴史的建造物について定義をわかりやすくしておいた方が良いと思う。 ・空き家バンクと歴史的建造物はどういう繋がりなのでしょう。普通の人が見たらこの歴史的建造物と空き家バンクは同じとはとても思えないのではないかと思いますので、この空き家バンクはここには載せないほうがいいのかではないのでしょうか。	
(今後の対応方針) ・桐生を好きな子供を育てる事業については、織物体験など普段学校でできないような体験を通して、どの地域の子供たちにも桐生の町に関心を持ってもらえればと思っていますが、引き続き内容について検討してまいります。 ・市民団体等の連携については、1団体が突出することのないよう、取り上げ方について工夫いたします。 ・本町通り整備事業について、電柱の地中化は令和6年12月に完了しておりますが、一部整備が残っている部分があるため「実施中」という表記にいたしました。表現方法について引き続き検討してまいります。 ・歴史的建造物の定義について、定義を明確にしわかりやすい表現で明記する方向で検討します。 ・空き家バンクとの繋がりについては、今後掲載するか含めて担当課と協議いたします。	